

ともしび



第145号

平成29年7月1日

題字は(故)黒川利雄博士

検診の 特色

- ・高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- ・専門医療機関紹介
- ・高い信頼性に基づく精度管理
- ・一貫したデータ管理

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的に!



ゲー子ちゃん

がん助くん

宮城県がん征圧イメージキャラクター



目次

リスクに応じた胃がん検診研究事業の開始について	2
リスク別の胃がん検診研究・RFLジャパンみやぎ2017のお知らせ	6
黒川利雄がん研究基金贈呈式	7
がん教育事業	8
検診車披露式・がん征圧スローガン	10
この課にチューモク	11
全国よろこびの会・みやぎよろこびの会	12
がん総合支援センターの紹介	13
登米市健康フェスティバル・アフラック共同がん予防・検診啓発イベント	15
ご寄付をいただいた方々・継続寄付のお願い	16

リスクに応じた胃がん検診研究事業の開始について

公益財団法人宮城県対がん協会研究局長
山形大学名誉教授
日本消化器がん検診学会理事長
深尾 彰 先生



はじめに

昨年7月に発刊された本紙面で、胃がんの効果的・効率的な予防対策として、ピロリ菌感染など、リスク要因を考慮した胃がん検診のシステム開発が課題であることを述べました。この課題、誰かがやってくれるだろうと高をくくっておりましたが、日本医療研究開発機構（AMED）※が実施する革新的がん医療実用化研究事業の一つに私の提案した研究が採択され、結局私が研究代表者で実施することになりました。本稿では、その研究計画と進捗状況についてお話しします。

※日本の医療分野の研究開発に関する予算を一元化し、重点的・戦略的に配分するために平成27年に設立された政府機関。

研究の目的

これまで胃がん検診といえば、地域でも職場でもとにかく40歳以上の“全員”にバリウムによるX線検査を“毎年”受けるよう勧められてきました（平成28年度からは、体制の整った地域では内視鏡検査で胃がん検診を実施することも可能になっています。）。一方、ヘリコバ

クタ・ピロリ菌（以下ピロリ菌）感染が胃の粘膜の萎縮を起し、萎縮が進展すると場合によっては胃がんが発生することがわかってきました。そこで、このピロリ菌感染と胃粘膜萎縮といういわゆる胃がんのリスク要因の情報を利用して、“全員”と“毎年”にこだわらない、より効果的かつ効率的な胃がん検診の仕組み、特に適正な受診間隔を提案しようというのがこの研究の目的です。研究の結果により、例えば、胃がんのリスクの高い人はこれまで通り毎年欠かさず検診を受診することを勧める一方、リスクの低い人には、2年あるいはもっと受診間隔をあけてもいいよと言えるようにしたいと考えています。

研究の対象及び方法

研究に参加いただく方は、宮城県対がん協会が実施する胃がん検診受診者のうち、図1に示した条件に合う方としました。予算上のこともあって、今回は50-69歳の方に限らせていただきます。重い病気の方は除外しますが、検診においでになった方ですのであまり問題ないと思います。ただし現在がんの治療をお

参加の条件

- 1 50～69歳の方
- 2 重篤な病気にかかっていない方
- 3 現在、がんで治療を受けていない方
(抗がん剤の服用、放射線治療、外科治療など)
- 4 胃の切除手術を受けていない方
(内視鏡による切除は除く)
- 5 この研究に協力することに同意していただける方

図 1

平成29年度実施計画

- ・X線検診: 宮城県内9市町61会場(延べ134日)
仙台市、栗原市、登米市、大崎市、石巻市、加美町、松島町、山元町、富谷市
- ・内視鏡検診: 新潟市、米子市、鳥取市、由利本荘市



JSASG
リスク別の
胃がん検診研究

Japan Stratified Approach to Screening
for Gastric Cancer

2

図 2

受けになっている方は除外します。また、胃の切除術をお受けになった方は除外します。最終的には個別に説明する研究内容をご理解の上、参加に同意をいただいた方(インフォームド・コンセントを得た方)を研究対象者といたします。図2に示す通り、本年度は仙台市をはじめ、9市町61会場でご参加の呼びかけをさせていただくことにしています。すでに4月から研究を開始し、栗原市、登米市、加美町などの検診会場で6月末までにすでに3千人を超える

方々に参加のご承諾をいただいております。本年度は、宮城県以外では、新潟市、米子市、鳥取市、由利本荘市で実施している内視鏡検診の受診者の方々に参加を呼びかけることにしています。

研究の方法を図3に示しました。研究の対象とした検診会場では、スタッフが個別に研究についての説明をするブースを設けております。その説明をご理解の上、参加にご承諾いただいた方には、血液検査を追加してピロリ

研究の流れの概要

① 血液検査は初年度のみ

- ピロリ菌抗体検査
- ペプシノゲン検査



② 3年続けて胃X線検査



③ 10年目まで追跡調査

- アンケート
- 住民基本台帳
- 胃がん検診の結果
- 全国がん登録
- 死亡届 など



図 3

薬千 卒段 2017年(平成29年)4月28日(金曜日)

胃がん検診 受診者対象 罹患リスク研究 本格着手

宮城県対がん協会が追跡調査

日本医療研究開発機構の委託を受け、本年度は宮城、秋田、新潟、鳥取の4県で実施する。検診会場で同意を得た受診者に血液検査を行い、胃がんの原因の一つとされるピロリ菌感染と胃粘膜の状態を調べよう。

50、69歳の受診者1万人を目標に協力を呼び掛ける予定。エックス線と内視鏡の検査方法に応じて3～5年間追跡調査を行う。ピロリ菌感染などががんの罹患率の関連を分析する。

結果は10年後をめどに公表する見通し。同協会の久遠次会長は「一人集団を対象にした数少ない研究で、住民の理解が必要になる」と、関係者に「胃がん検診は2016年4月から従来のエックス線に内視鏡を加え、検査項目を増やすようにする」と国が方針を改正した。内視鏡を使う検査は一部の医療機関が診療の合間に行うため、効率が悪いという。

全国の胃がん検診受診率は男性45・8%、女性33・8%(40～69歳、2013年)。国が目標とする50%を下回り、受診率の向上も課題となっている。

日本消化器がん検診学会理事長で、宮城県対がん協会の深尾彰研究局長は「リスクに応じたがんの罹患率を計算し、リスクの高い人たちに重点的に検査を受けてもらえば、効率的に検診を実施でき、胃がんの死亡率を下げられるだろう」と話す。

宮城県対がん協会や秋田県などの胃がん検診受診者を対象に、ピロリ菌感染や胃粘膜の収縮・炎症の有無と、がんの罹患の関連を調べる研究を始めた。本年度から本格的に着手し、胃がんのリスクに応じて受診が必要となる対象者や適切な受診間隔を示すことで、効果的な検診体制の構築を目指す。

図 4

(河北新報 4月28日掲載)

菌抗体とペプシノゲンを測定します。この血液検査は、AMEDからの研究費で賄いますので無料です。ここで測定するピロリ菌抗体は現在ピロリ菌に感染しているかどうかを調べるもので、ペプシノゲンの値は、胃粘膜の萎縮

の程度がわかります。さらに現在の健康状態についての簡単なアンケートに答えいただいた後、バリウムによる胃X線検査を受けていただきます。次の年からできるだけ2回続けて胃がん検診を受けていただきます。一方、研究に参

加された方の胃がんの罹患率（新たに胃がんにかかった人の割合）を測定するための追跡調査を10年にわたって行います。追跡調査は、数回にわたる健康状態に関するアンケート調査、住民基本台帳（引っ越しなどの転出情報を入手します）、胃がん検診の結果、全国がん登録（胃がんの罹患情報を入手します）、死亡届などから情報を収集します。この際、参加された方の個人情報が用いられますが、その取扱については、国が定めたルール（文部科学省・厚生労働省「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」平成29年改正）に従って、研究目的外に使用しないこと、第3者提供は行わないことなど厳重に管理することを明記しておきます。最終的に研究に参加した時点での検査結果の組み合わせで分類されるいくつかのグループごとの胃がんの罹患率が計算でき、それに基づいて各グループに適した受診間隔を提案したいと考えています。

研究の進捗状況とお願い

本研究はAMEDの平成28年度を初年度とする研究事業ですが、正式な採択通知が来たのはなんと平成28年11月でした。とにかく宮城県でやらねばと思っはみたものの、平成29年度の検診まで3か月そこそこ、何はともあれということで研究事業を実施する市町村の選定を始めました。当初は、宮城県対がん協会が胃がん検診を単独で実施している地域では、採血業務のための人員配置や

立ち合い医師の問題があって実施が難しいとの判断から、特定健康診査と共同実施している地域を選びました。それで選んだのが、図2の実施計画のところで挙げた仙台市、富谷市を除く7市町です。その後、当初の問題に解決のめどが立ったことから、平成29年度は仙台市、富谷市を加えて9市町61会場で実施することにしました。宮城県、宮城県医師会、ならびに研究実施市町等に研究計画について説明に上がり、快くご承諾をいただきましたが、最大の問題は会場で研究の説明をして同意をとる作業にあたるスタッフの確保でした。対がん協会の職員や元職員の声掛けやハローワークでの募集、あるいは看護協会へのお願い等々できる限りの手を尽くした結果、五十数名の方々とスタッフとしての契約を交わすことができました。このスタッフの方を1会場につき3-4名配置することにして、本年4月から無事研究事業をスタートさせることができました。本研究事業については、4月28日付の河北新報（図4）に詳しく報道されたこともあって県民の皆様の認知度も高まったようで、5月末までで研究参加者がすでに1500名を超えたとの報告を受けています。

より効果的かつ効率的な胃がん検診の仕組みを作り上げるという本研究事業の目的を達成するためには、できるだけ多くの皆様の参加が必要です。検診会場で声をかけられたら、ちょっと立ち止まって説明を聞いて参加していただければ幸いです。

リスク別の胃がん検診研究

宮城県対がん協会の事業は検診だけではありません。数ある中の1つに調査研究事業があります。(ここには書ききれませんのでホームページやリーフレットをご覧ください。)これは、がんの予防、検診方法、検診評価等ががん検診に関する調査研究を行うほか、厚生労働省や文部科学省の科学研究費補助事業等国のがん対策のための調査研究事業へ参加しています。その研究事業が前述でもご紹介している「リスク別の胃がん検診研究」です。



4月栗原市志波姫総合支所よりスタートし、おかげさまで6月末現在3000名を超える協力者を得ることができています。

この研究を遂行するにあたり、実施主体様のご理解とご協力、またスタッフとして宮城県内各地で活躍なされた保健師や看護師の有志 OG の皆様、一般公募により参加された皆様が、この研究事業に賛同いただきましたこと、感謝申し上げます。



スタッフは健診会場にてオレンジ蛍光色のビブスを纏い、参加協力を呼びかけ研究の趣旨の説明をし、協力者のみなさんから同意とアンケートをいただき採血コーナーへと誘導しています。スタートして2か月、さすがベテラン見ず知らずのスタッフ同士でもチームワークは万全。開始から日に日に協力者の数は増えています。笑顔満載のオレンジ軍団。



会場で見かけたら、「何やってんの？」で結構ですので声をかけてみてください。まずはそこからです。私たちの使命は、人々ががんにならないように予防する対策、また、がんになってもそれで命を落とさないですむように早期発見・早期治療のための精度の高いがん検診を普及することです。宮城県対がん協会のもう一つの顔である調査研究事業。「リスク別の胃がん検診研究」スタッフは朝日とともに今日も西へ東へ。

リレー・フォー・ライフ ジャパン みやぎ 2017

真夏のイベント RFL ジャパンみやぎ 2017 が今年も8月26日(土)～27日(日)の両日、昨年と同じ仙台市国際センター内せんだい青葉山交流広場で開催されます。昨年は、多くの方々の参加により24時間タスキを繋ぐ事が出来ました。ありがとうございます。今年も多くの方の参加をお待ちしております。家族、友達、夫婦、誰でも構いません。

短時間でもOKです。加えまして、気持ちの寄付、差し入れ等もよろしくお祈いします。今年も、命の大切さ、サバイバーの気持ちになり、命のタスキを繋ぎましょう。



RFL ジャパン みやぎ 2016

「黒川利雄がん研究基金」

平成29年度研究者決定

「黒川利雄がん研究基金」は、がんの予防及び早期発見・治療に関する開発等に携わる若手研究者に対し研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されたもので、今年で28回目となりました。今年1月から3月までの期間で全国に公募をしたところ、8件の応募があり、4月24日に「研究基金」の運営委員会を開催し申請者の研究内容を慎重に審議した結果、平成29年度の研究助成額は220万円で第1回から数えると116名の研究助成額に対して総額7,570万円の研究助成金を

贈ったこととなります。

研究助成金の贈呈式は、去る6月6日仙台市内のホテルで行われ、当協会の久道茂会長の挨拶で始まり、運営委員会の下瀬川徹委員長から選考までの経過報告がされ、渋谷大助がん検診センター所長から研究者の紹介が行われました。

続いて久道茂会長より、研究者1人ひとりに研究助成証書と助成金が贈呈され、さらに黒川先生が座右の銘としていた「山上に山あり 山また山」を刻んだ石版が贈られ、最後に研究者を代表して浅野直喜先生より謝辞が述べられました。



黒川記念室を見学する研究者



贈呈式会場での記念撮影

後列左より田勢所長、下瀬川委員長、渋谷所長、加藤事務局長
前列左より目時先生、兼平先生、久道会長、浅野先生、宮下先生

平成29年度『黒川利雄がん研究基金』研究助成対象及び研究者

(申請順 敬称略)

	研究主題	氏名	所属	助成金
1	難治性トリプルネガティブ乳癌における腫瘍免疫学的治療効果予測モデルの開発	宮下 穰 (39歳)	東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野	70万円
2	自然免疫応答の破綻による胃発癌機構の解明	浅野 直喜 (44歳)	東北大学病院消化器内科	50万円
3	T細胞レパトア解析とリキッドバイオプシーの融合による肺癌術後再発の早期予測法の確立	兼平 雅彦 (42歳)	東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野	50万円
4	妊婦における子宮頸がん検診結果とその関連要因の検討	目時 弘仁 (40歳)	東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室	50万円

※ 年齢、所属は平成29年4月1日現在

～ がん教育の現場から ～

がん対策基本法の制定から10年が経ち、2016年12月、「がん対策基本法」の改正法が成立しました。成立した改正法では、基本理念の中のがん患者への国民の理解が深まることを求めており、「がんに関する教育の推進」の項目が新設されました。

当協会では、県の委託を受けて「がん教育」を始め5年目となりますが、学校単独や行政からの依頼にも答え「がん教育」を実施しています。その一部を紹介します。

■川崎町内小・中学校

～逆世代教育で大人のがん検診受診率向上をはかる～

川崎町では、平成25年より町内の小・中学校児童・生徒に対し、タバコの害や生活習慣の改善による小さいときからのがん予防について出前授業を行い、その際家族あての検診受診勧奨用紙を渡し、家族とがんについて話すことで、保護者など大人への知識の普及（逆世代教育）を行っています。また、これらは検診が始まる時期の前に行われ、受診率向上へ一役買っています。

■宮城県柴田高等学校

～自分の健康は自分で守る姿勢を学ぶ～

平成26年より、柴田町からの依頼を受け、卒業を迎える3年生を対象に、「自分の健康は自分で守る」を目標に、がんにならない生活習慣について講話を実施しています。

これからそれぞれの道に進む生徒にとっても、がんは身近な病気であること、若いときから生活習慣に気を付けること、定期的に検診を受けることで将来も健康を維持できることなどを伝えています。

■仙台青陵中等教育学校

～がんという病気を知り命の大切さを考える～

養護教諭より依頼があり、平成27年、28年と2学年を対象に講話を実施しています。学校のねらいとして、生徒に「がんについて正しく理解させ、命の大切さを考え、自分自身の生活習慣を見直して健康なからだ作りを意識させたい」ということがあり、生涯を通じて自分の健康を適切に管理改善できる資質や能力を育成するという目的に沿って実施しました。

宮城県では、養護教諭や保健主事などが実施できるように、宮城県小・中学校向けがん教育教材「がんのことを知ろう」を制作し、DVD化しました（前回紙上で一部紹介）。

がん教育は、外部講師の活用もよいとされていますが、一方で教育指導の専門家ではないため、事前に学校側と学習指導上の留意点を共有することが必要と思われます。授業によって、児童・生徒のがんに対するイメージが前向きになることや、保護者や家族に話すことで検診受診率が向上し、家族の禁煙も進むことなど地道な活動により、少しでもがんで苦しむ人が減ることを期待するものです。



がん教育事業

平成 28 年度がん教育事業大学・専門学校開催一覧

学校名	講師	月日	曜日	開始	終了	対象	聴講数	
東北福祉大学	おざわ女性総合クリニック 院長	小澤 信義	12/1	木	16:05	17:35	医療経営管理学科 2 年生	67
仙台医療福祉専門学校	中川記念ちか子女性クリニック 院長	岡村智佳子	12/7	水	15:00	16:30	医療秘書学科 1.2 年生	118
仙台青葉学院短期大学	おざわ女性総合クリニック 院長	小澤 信義	12/8	木	13:00	14:30	栄養学科 2 年生	62
仙台白百合女子大学	中川記念ちか子女性クリニック 院長	岡村智佳子	12/14	水	16:20	17:50	健康栄養学科 2 年生	78
宮城学院女子大学	おざわ女性総合クリニック 院長	小澤 信義	12/22	木	18:00	19:20	食品栄養学科 1 年生	188
宮城県高等看護学校	おざわ女性総合クリニック 院長	小澤 信義	3/16	木	14:20	15:50	看護学科 1 年生	28
合計							541	

平成 28 年度がん教育事業小・中学校開催一覧

学校名	実施日	曜日	時間	対象学年	生徒数
亘理町立長瀬小学校	平成 28 年 11 月 25 日	金	13:30 ~ 14:15	5.6 年生	67
東松島市立矢本西小学校	平成 28 年 12 月 5 日	月	14:40 ~ 15:25	6 年生	57
加美町立東小野田小学校	平成 28 年 12 月 6 日	火	14:15 ~ 15:00	5.6 年生	47
大河原町立金ヶ瀬中学校	平成 29 年 1 月 18 日	水	14:30 ~ 15:20	中学 2 年	29
南三陸町立歌津中学校	平成 29 年 1 月 26 日	木	13:30 ~ 14:20	中学 2 年	36
仙台市立鶴巻小学校	平成 29 年 1 月 30 日	月	13:35 ~ 14:20	6 年生	68
栗原市立鶯沢小学校	平成 29 年 2 月 7 日	火	13:25 ~ 14:10	5 年生	16
仙台市立向山小学校	平成 29 年 2 月 9 日	木	10:50 ~ 11:35	6 年生	36
仙台市立高砂小学校	平成 29 年 2 月 14 日	火	13:55 ~ 14:40	6 年生	78
登米市立豊里小学校	平成 29 年 2 月 21 日	火	14:25 ~ 15:10	6 年生	72
合計					506

平成29年度宮婦連ブロック別研修会日程

今年度も宮城県地域婦人団体連絡協議会のブロック別研修会が下記の日程で実施されます。研修会では講師として対がん協会がん検診センター所長の渋谷先生より「胃がんとピロリ菌感染について」、同じく協会看護課の方より、「がん予防クイズ～女性のガンについて～」のテーマでお話をいたします。

中央ブロック	7月 5日 (水)	塩釜市壱番館 5階遊ホール
栗原ブロック	7月 5日 (水)	金成けやき会館
石巻ブロック	7月 7日 (金)	東松島市コミュニティセンター
気仙沼ブロック	7月 9日 (日)	気仙沼中央公民館
大崎ブロック	7月12日 (水)	色麻町農村環境改善センター
大河原ブロック	7月14日 (金)	白石市中央公民館
登米ブロック	7月14日 (金)	登米市宝江ふれあいセンター

検診車披露式

胃がん検診車「きぼう 15号」

平成 29 年 3 月 14 日、「日本財団 2016 年度補助事業」により、デジタル胃検診車「きぼう 15号」の披露式が執り行われました。

この検診車は、最新のデジタル式 X 線装置を搭載し、車体は従来の検診車と比べ、よりコンパクトに設計されており、様々な検診会場に対応できるよう製作いたしました。

当協会は、今後も質の高い検診により県民皆様の健康保持に役立つよう努力してまいります。



平成29年度(2017年度)「がん征圧スローガン」が決定しました!

最優秀賞

「継続が 予防につながる がん検診」

山梨県支部 高野実紀さん作

「がん検診 受けて子どもへ がん教育」

栃木県支部 奥沢つきさん作

優秀賞

「受けようか 迷う今こそ がん検診」

福井県支部 進士美和さん作

「がんこわい? 検診受けない あなたがこわい」

岡山県支部 沼本律志さん作

この課にチューモク第6弾!! 計画課紹介

今回は計画課を紹介させていただきます。

計画課は13人で業務を遂行しております。それぞれ、がん・生活習慣病健診とがん検診に担当部門が分かれています。そのうえで、地域や事業所の種類で担当が決まっています。各担当は、実施主体の担当者様と打ち合わせを行います。がん・生活習慣病健診担当は日程や項目を検討します。がん検診担当は各種がん検診の日程を調整し、検診車の配車を検討します。スムーズな検診（健診）ができるように、計画課員は日々悩んでいます。



そのような業務のため、打ち合わせのために朝早くから夕方まで出かけていることや、課の中にも電話対応が多く、あっという間に夕方になっていることも少なくありません。

これを書いている今もフロアには6人しかいませんが、課員はともに助け合い、良い仕事を目指しております。

計画課は困ったときには、声に出すと優しい先輩や同僚たちが助けてくれて、その後も状況を確認してくれたり、とても仲間意識が高く、熱いハートを持つ人が集まっています。そのため、計画課の室温はほかのフロアより暑さを感じますが、雰囲気はとても和やかです。

計画課の由来ですが、もともと検診車が足りていなかった頃、検診車を効率的に運用するため、「検診を計画的に実施する」ための部署として設置されました。ですので、今でも契約いた



だいている自治体や会社さまの都合をお聞きし、できるだけご希望に合う日程と会場を提供できるように年間を通して検診（健診）計画を作成しています。残念ながら、すべての希望に合うように予定を立てることは困難ですが、検診（健診）会場などで、受診者の方からの喜びの声などが聞こえると、とてもうれしいです。

これからも、もっと受診者の方に喜んでいただけるように計画課一同で頑張っていきたいと思います。

全国よろこびの会

全国よろこびの会総会が、今年度は6月15日～16日群馬県伊香保温泉にて開催されます。今年も、各支部から約80名の会員が一堂に会し総会を開催いたします。宮城からは、2名の会員の方が会長賞の表彰を受けます。参加される、多くの会員さんは全国の会員と一年振りにお会いするのを楽しみにしております。

みやぎよろこびの会

みやぎよろこびの会の各支部での総会が順次開催されております。

今年のトップを切って、4月14日（金）丸森支部で開催されました。

よろこびの会本部より、馬場副会長が参加、支部から7名の会員さんが集まり、総会の後、役場からの講師による「認知症を学び地域で支えよう」と題して勉強会を開き、その後昼食懇談会に席を移動しました。

5月30日（火）は川崎支部総会、5月31日（水）には、金成支部総会が開催されました。

金成支部では、総会後に工藤栄養士から「栗原市の健康課題と食生活について」の講話がありました。

今後の各支部総会の予定は、中田支部6月12日（月）、仙台支部6月28日（水）で順次開催されます。



丸森支部



川崎支部



金成支部



～宮城県がん総合支援センターのご案内～ がん なんでも相談

「がん」じゃないかと思ったとき、「がん」と診断されたとき、多くの患者さんやご家族は衝撃を受け、気持ちが動揺します。病院に相談窓口があるけど何を聞けばいいのか分からない…不安ばかりが大きくなっていく。こんな経験のある方がたくさんいらっしゃいます。あなただけではありません。

そんなあなたのお話を聞きながら、あなたと一緒に状況を整理し、あなたがあなたらしく生きるためのお手伝いをするところが「宮城県がん総合支援センター」です。

患者さん・そのご家族向けの総合相談、医療・福祉従事者向けの総合相談を行っています。

去年はこんな相談がありました…(平成28年度 電話相談303件 面談26件 メール20件)

〈不安など心のこと〉

- ・とにかく不安、怖くてたまらない
- ・一人でいると恐怖に押し潰されそう
- ・家族に話せないから聞いて欲しい



〈医療者との関係〉

- ・先生の説明が分からない
- ・何をどう聞けばいいのか分からない
- ・主治医がすぐに対応してくれない
- ・病院を変えたい



〈検査・治療・副作用〉

- ・自分のがんや治療について詳しく知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・治療方法について迷っている



〈がんの予防や検診について〉

- ・検診はどこで受けられるのか
- ・がん検診で精密検査の通知がきて、不安でたまらない

専任の保健師・看護師による相談（無料）



〈経済的な負担や支援について〉

- ・医療費が不安。使える制度を知りたい
- ・介護保険の手続きを知りたい
- ・育児や家事のことで困っている

〈社会との関わり〉

- ・仕事を続けながら治療はできるか
- ・病気について、職場や学校にどう伝えればいいのか

相談や情報提供のほかにこんなこともやっています。

- 患者会への支援
- がんピアサポーターの育成
- 講師・ファシリテーターの派遣
- 「がん患者・サロン ネットワークみやぎ」事務局 など

連絡先 宮城県対がん協会内

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上5-7-30 TEL : 022-263-1560

Eメール : zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp

宮城県がん総合支援センター で 検索

相談受付：月曜日から金曜日まで（祝日・休日は除く）午前9時から午後4時まで



がんになっても自分らしく生活をするためにまずはお電話をください
(メールは24時間OKです)

無料!

**「がんの悩みや不安を気軽に相談してください」
“がん相談”のお知らせ**

「がん総合相談」のご紹介

宮城県対がん協会のがん総合相談

宮城県対がん協会は、**医師による無料**の「がん総合相談」を行なっております。

ご家族の治療法や生活、セカンドオピニオンの受け方や患者の支え方など、ご本人やご家族のさまざまな悩み、不安、疑問などの相談に応じます。

完全予約制で一人様30分の面談方式です。相談日を調整させていただきますので、お電話でお申込みください。

宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30
お問い合わせ・予約申込 宮城県対がん協会
Tel.022-263-1525(平日10:00~17:00)
面談日時を調整させていただきます。

相談は無料ですので
お気軽にご予約ください。



ダイエットを考えている方必見!! 健康的に痩せるための3つのポイント



朝食は必ず食べる

朝食を食べることで体内時計にスイッチが入り、代謝がよくなります。



おやつを食べるなら 午後3時

最も脂肪が蓄積しにくい時間帯は午後3時頃。
最も脂肪が蓄積しやすい時間帯は
午後9~午前2時頃。
夜食はダイエットの敵です。



夕食の時間は 午後8時まで

消化が活発になるのは夕方。夕食が夜遅いと、
食べたものが脂肪に変わりやすくなります。

登米市健康フェスティバル

登米市で5月27日(土)に開催された～健康寿命の延伸を目指して～「2017 活き生き健康フェスティバル」に参加しました。会場となった登米祝祭劇場には様々なコーナーが設けられ、参加者は熱心に各コーナーを廻っていました。対がん協会は「がん予防コーナー」として、がんに関する健康クイズや、顕微鏡でがん細胞を覗いたり、胃の模型によるファイバースコープ体験・乳がん視触診模型での自己検診体験等がんに関する正しい知識の普及に努めました。

当日、午前の部は、東北文化学園大学准教授の佐藤敬広先生による運動教室が行われ、午後の部は、元NHKアナウンサーでフリーアナウンサーの宮本隆治さんの「ゆとり・ユーモア・帰りは元気!」をテーマとした講演が開催され、たくさんの来場者で会場も賑わいました。



アフラック共同がん予防・検診啓発イベント

5月28日(日)にザ・モール仙台長町店にて、アフラックサービスショップ開設1周年イベントと併用して、がん予防・がん検診の啓発をアフラックさん、アフラック專業募集代理店の株式会社トーアさんの方々と一緒に行いました。若中年世代を中心に多くの方にがん予防とがん検診について啓発資材(胃の模型・内視鏡、子宮頸がん細胞・顕微鏡、乳がん視触診模型、タールサンプル、がん予防クイズ等)を使いPRしました。特に若い世代の方は初めてのことで、内視鏡や顕微鏡を覗いたり、興味深くスタッフの説明に耳を傾けておりました。当日は、近隣の小学校で運動会が多数開催されていたためか、ザ・モール仙台長町店への来場者は普段の土日に比べると若干少ないようでしたが、約200名以上の方がイベントに参加してくださいました。



ご寄付をいただいた法人・個人

2016年12月1日～2017年5月31日受付分
順不同・敬称略

■篤志寄付金

多賀城市婦人会連合会、株式会社デンコードー、鈴木裕、仙台青葉学院短期大学、柴田町、バナホーム株式会社東北・北海道支社、富谷市、JAみやぎ仙南青年部・女性部、ホッとサロン in 仙台、株式会社トーア

■特定維持会員

協業組合仙台清掃公社、株式会社アイクリーン、小林クリエイト株式会社、株式会社サン・ベンディング東北、オリオシステム株式会社、堀井薬品工業株式会社、株式会社テクニカルラボ、東北電力株式会社、合資会社中北車体工作所、カイゲンファーマ株式会社仙台営業所、ホロジックジャパン株式会社、伏見製薬株式会社仙台営業所、東邦薬品株式会社、ライズ株式会社、東芝メディカルシステムズ株式会社、有限会社タノウチ印刷、チバ器械株式会社、株式会社宮城トヨタ商事、株式会社仙台銀行、東京特殊車体株式会社、七十七リース株式会社、同和警備株式会社、株式会社ビー・プロ、カガワ印刷株式会社、株式会社バイタルネット、コセキ株式会社

■賛助会員（議会）

七ヶ浜町議会

■賛助会員（法人）

仙台ガス保安工事株式会社、東北共栄建設株式会社、三宝物産株式会社、石巻商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、有限会社サンフレックス、カイルク株式会社、有限会社若沼屋ホテル、瀧美工業株式会社仙台支店、株式会社藤崎

■賛助会員（農協）

加美よつば農業協同組合、JAみやぎ女性組織協議会、古川農業協同組合、みやぎ仙南農業協同組合、宮城県農村健康管理推進協議会、宮城県農業協同組合中央会、栗っこ農業協同組合、いわでやま農業協同組合、みやぎ登米農業協同組合、みどりの農業協同組合、仙台農業協同組合、あさひな農業協同組合

■賛助会員（医師会）

仙台市医師会：北野原正高、荒井秀夫、椎葉健一、矢内謙、佐藤彰、医療法人慶隆会、阿部内科神経科医院、本田毅彦、医療法人社団清山会いずみの社診療所、社会医療法人康陽会中嶋病院、北村神経内科クリニック、医療法人社団本島内科胃腸科クリニック、佐藤英幸、医療法人大山内科胃腸科、本多博、氏家裕明、泉ヶ丘クリニック、桃野レディースクリニック、南中山内科クリニック、引地内科医院、相田光保、大内憲明、千田内科、仙台産業医科診療所、石田望、早川医院、穴戸クリニック、今野豊、医療法人社団櫻井内科医院、菅原伸之

柴田郡医師会：宮上順志、佐藤内科クリニック、平井内科、みやぎ県南中核病院、医療法人社団山家内科小児科医院、いのまた胃と腸・内科クリニック

白石市医師会：大泉記念病院

亶理郡医師会：熊谷内科医院、亶理整形外科

角田市医師会：(医) 社団小川整形外科クリニック、医療法人本多友愛会、横山正和

名取市医師会：丹野小児科医院、桑島一郎、金澤義彦、時計台クリニック

黒川郡医師会：医療法人社団山小児科医院、ちば小児科医院、医療法人盟陽会富谷中央病院

加美郡医師会：加美郡保健医療福祉行政事務組合、大山医院、鈴木啓之

大崎市医師会：古川星陵病院分院、寛内科胃腸科クリニック

遠田郡医師会：涌谷町国民健康保険病院、医療法人章真会熱海医院

桃生郡医師会：鶴田耳鼻咽喉科医院、真壁病院、ししど内科クリニック

登米市医師会：八嶋中央診療所、菅原内科クリニック、医療法人社団小澤医院、佐藤医院、(医) 頌和会佐藤内科医院

栗原市医師会：高橋ハートクリニック

■みやぎよろこびの会

根元京子、千葉昌男、阿部正義、穴戸玲子、佐藤艶子、千葉昌男、千石よし子、佐藤たまを、菊池やゑ子

■賛助会費（宮婦連）

逢隈婦人会：齋藤多寿子、佐藤祐子、渡辺芳、菱沼和子、渡邊禮子、猪又和子、三品美智子、三品せつ、八巻富士子

角田市地域婦人会：遠藤美代子、伊藤紀代子、鎌田三千子、森愛子、菅原よし子、村上幸子、保志とみ子、仙石茂子、保志都、玉手富美子、加川昭子、中畑繁子

吉田西部婦人会：小野節子、大河原正子、玉田しげ子、安藤美重子、松山芳子、安藤和子、大槻かつ子、大河原みつ子

吉田婦人会：齋藤律子、川崎カツ子、本間利子、若佐美津子、小野典子、岩佐直子、渡部友子、穴戸浩子、千葉きよ子、森美奈子、佐々木ミヨ、丸子みね子、條まさ子、小野礼子、渡辺光子、齋藤かつよ、森貞子、沢田純子、丸子加代子

荒浜婦人会：濱野かじ子、永浜由紀子、武者信子、橋本貞子、渡部とし子、馬場道子、佐藤富美子、阿部みや子、穴戸ひろ子、穴戸都賀子

佐沼婦人会：鈴木タキ子、伊藤桂子、高橋絹子、佐々木ふく、岩崎喜枝枝、大澤きよ子、長谷哲子、小田嶋カツ子、高田貞子、大場きみ子、高橋あい子、浅野和子、猪股裕子、遊佐富士子、阿部喜江子、佐藤恵子、男澤隆子、佐藤ヒサ子

志波姫婦人会：高橋俊子、相馬桂子、佐藤光子、菅原峰子、鈴木たま子

松岩婦人会：小野寺信子、鈴木玲子、内海みち子、千葉享子、熊谷洋子

大島婦人会：白川好子、白幡やしよ、村上さつ子

大和町吉岡婦人会：波間妙子、佐々木登志子、馬場ふみ子、浅野洋子

中田婦人会：佐藤千賀子、五嶋敬子、五嶋まさえ、佐藤頼子、堀内弘江、泉田今子、石川クニ子、佐々木やゑ子、森田侑子、堀内のり子、畑山信子、鈴木禎子、堀内悦代、三浦しん、佐々木カジ子

亶理婦人会：佐野みさ子、小野寺貞子、三戸部とし江、若松捷子、岩見富子、渡辺みつ江、佐藤キクヨ、斎藤みよ、戸引よし子、馬場さえ子、佐藤徳子、相原成子

■賛助会員（個人）

菅原智恵子、荒木昭、小林茂夫、我妻宗夫、ひまわり法律事務所、佐野國男、海川ヒデ、佐藤不二夫、辻のみ子、安藤裕子、阿部信子、市川信昭、高橋敬一、清藤恭雄、早坂純、高橋正子、本間基文、伊藤義郎、高橋堅固、豊浦康男、及川力、稲垣晃、岩田恒一、紺野久子、佐藤好子、高橋龍郎、岡嶋徹、加藤静夫、有限会社北斗、阿部かしく、澤田幸男、猪狩惶、阿部はつ江、萩田みつ子、齋藤多見恵、佐々木勝子、亀谷英輝、江刺洋司、芋川宏、後藤みよ子、菅井正治、加藤暢郎、亀山米子、阿部英見、山口正一、佐藤京子、橘川光男、中沢きく子、加藤暢郎、内海春壽、及川貴司、鈴木里恵、佐藤真由美、大友美智子、金野知佐子、村上裕一、佐藤亶、佐藤朋春、鷲尾尚子、志久保純一、渡辺浩之、佐藤秀逸、小野千恵美、樋口史香、菊地敦子、藤村千恵子、加藤秀則、齋藤純子、大渡久美子、只野尚子、泉田京子、干坂みゆき、熊谷洋美、佐藤由紀、大江幸江、高橋期子、佐藤しげみ、菊地章子、小田切千恵、守谷崇、中川知恵、橋本真里子、大内祥之、佐藤紀子、斎藤淳子、平田誠、佐藤一騎、鈴木ゆき子、桃井貞夫、齋藤千晴

賛助会員(個人・法人の継続寄付)募集中

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究、がん登録管理等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の「**所得控除**」と「**税額控除**」の**いずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、「**特定公益増進法人**」に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。

《 寄付金の種類 》

- ・ **賛助会員寄付** 協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
個人会員 1口 1,000円以上の寄付者（個人）
法人会員 1口 10,000円以上の寄付者（団体・法人）
特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- ・ **篤志寄付** 協会の活動に対する一時的な寄付金
- ・ **黒川基金** 黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人 宮城県対がん協会 法人事業課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 5-7-30 TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548
ホームページアドレス：http://www.miyagi-taigan.or.jp